

公開質問状

奈義町長 奥正親 様

日頃、町政進展のため、ご尽力を頂いている事と存じます。

さて、今、進行中の町づくりの諸課題（認定こども園、中学校建設、電子マネー、地方創生事業等々）について、私たち町民の中では、疑問の声が増積しています。そこで、種々、相談をした結果、このまま座視する訳にはいかない、との認識に至り、別紙のような公開質問状を提出する事となりました。ご検討を頂き、回答をよろしくお願い致します。

なお、各設問に対し、200字～300字程度でお答え下さい。別紙で回答を頂いても結構です。締め切りは、11月20日（金）までと致します。回答ができましたら、代表の松木まで連絡下さい。また、この結果については、町内全戸に配布をさせていただきます。その際は、紙面の都合で、全文ではなく要点を掲載する場合がありますので、ご了解下さい。

令和2年11月10日

町民有志代表

■■■■ (奈義町■■■■)

電話 0868(36)■■■■

■■■■ (奈義町■■■■)

■■■■ (奈義町■■■■)

■■■■ (奈義町■■■■)

質問項目

《認定こども園について》

① そもそも、認定こども園が奈義町になぜ必要なのか、明確な説明がなく、町民には疑問の声が多数、残されています。改めて、その必要性和町民への説明（地区懇談会だけでなく、直接、この問題で町民に説明をした）経緯についてお聞きします。

.....

.....

.....

.....

.....

② 現在の2幼稚園の体制の何が問題であるのか、また、認定こども園が1カ所になると、定員250人もの大規模となり、子どもの教育、保育にとって問題が多いと言われています。この点についての考えを述べて下さい。

.....

.....

.....

.....

③ 場所の問題については、当初、候補地が6カ所であったものが、現在の用地（駐車場）に特定された理由、また、イベント開催時の駐車場の事など、町民の理解は得られていないと、考えます。町長はどういう見解ですか。当てはまる番号に○をいれ、その理由を述べて下さい。

- 1、理解は得られている 2、充分には得られていない 3、得られていない

(その理由)

.....

.....

.....

.....

.....

④ 用地について、盛土（嵩上げ）が計画されていますが、これは当初なかった計画です。また、この新たな事業（盛土）によって、建設費が増える事が考えられます。こうした事情を考えると、町民に、改めて説明をして理解を求める事が、当然、必要と思いますが、見解を伺います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

《中学校建設について》

⑤ 県下で唯一、残されている奈義中学校の耐震化工事は、急を要しています。奥町長のこの間の姿勢を見ると、認定こども園には熱心だが、中学校は後回しにされているように感じます。町民からは、中学校の事が聞こえてこない、とも言われています。奥町長の、中学校建設に対する考えと、町民に説明と理解を得る事の重要性について、考えをお聞きします。該当箇所に○を記入し、見解をお書きください。

- 1、優先して建設を進める必要がある 2、認定こども園もあるので、両方を睨んで進める必要がある

(その理由)

.....

.....

.....

.....

.....

⑥ 計画では、プールやテニスコートが敷地内に設置されず、運動公園での使用になっていますが、移動等に懸念の声が出されています。本来必要な、プール、テニスコートが設置されず、その効果に疑問の声が出されている地域交流センターやランチルームが設置予定となっていますが、なぜなのでしょう、その理由を説明して下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

《電子マネーについて》

⑦ 電子マネーについて、町が行った調査でも、過半数の町民が、「必要ない」と答えています。奥町長は、なぜ、この声を見放されるのでしょうか。また、電子マネーについてどういう役割と効果を目指しておられるのか、お聞きします。

町民の多数が必要ないと考えている中でも、電子マネー導入を進めることについて、どう
いう考えか、お書きください。

(その理由)

《町有地の無償貸与について》

- ⑧ 町有地（土地）を無償貸与（50年間無償）する事業が進んでいますが、町民からは疑問
の声が出されています。個人事業者へ、公的財産を無償で貸すことの根拠は何でしょうか。
町民への説明を、充分、行う必要があると思いますが、どういう考えでしょうか。

(その理由)

《地方創生事業について》

- ⑨ 地方創生事業は、今年度で1期5年を終えようとしています。総額15億円以上もの大金
が投入されてきたこの事業は、検証が当然、必要です。費用対効果の観点から、特に、ナ
ギテラス、ナギフトカード、なぎポスト、奈義しごとえん、那岐の茶の間、ビジット奈義
等、どういう効果があったのか、それぞれ、この間、掛かった経費を含めて、別紙の項目
に記入下さい。

- ⑩ 第2期の地方創生事業（令和3年度から）について、第1期の検証をしっかりとった上で、
継続か、見直しか、中止か、考えなくてはなりません。奥町長は、どういう考えでおられ
るか、お聞きします。

1、継続する

2、見直しをする

3、中止する

(その理由)

《基本姿勢》

- ⑪ 奥町長は、認定こども園の問題でも電子マネーの事でも、民意を軽視または無視するような姿勢が目立ちます。町長の基本姿勢として、町民の声に対して、どう対応されようとしているのか、お聞きします

.....

.....

.....

.....

.....

.....

設問⑨の回答用紙（評価は、効果があった、は○、ある程度効果があった、は△、効果はなかった、は×で記入下さい。）（経費は、千円の単位で）

事業名	掛かった経費 (千円)	評価	その理由（コメント）
ナギテラス			
ナギフトカード			
なぎポスト			
奈義しごとえん			
那岐の茶の間			
ビジット奈義			